27 01 12 01 01 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年02月02日（水）

事務事業	予算編成・統制事務	担当課	財政課	担当係	財政係	管理番号	2714
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別施策名 大項目	200006 みんなで創る協働のまち（協働・行政経営）	根拠法令個別計画等					
中項目	200002 将来に向けた持続可能なまちづくり						
小項目	200003 行財政運営の推進						

事業概要	計画的かつ効率的な財政運営を行うため、予算の編成および配当を行い管理することにより、市財政の適正な執行体制につなげるものである。
目的 ※何のために	計画的かつ効率的な財政運営を行うため
対象 ※誰・何を対象に	予算
手段 ※どのように	予算編成および予算配当を行い管理する。
成果 ※何を求めるか	市財政の適正な執行体制につなげる。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ NPO 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	12	予備費	01	予備費	01	予備費	予備費	0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 当初予算編成	・
・ 補正予算編成	・
・ 予算執行管理（流用・配当替など）	・
・ 全庁的な使用料・手数料の管理・統制	・
・ 全庁的な補助金の管理・統制	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画			予算編成	予算編成	予算編成	予算編成	予算編成	予算編成
				使用料・手数料の見直し				
				補助金の見直し	補助金の見直し	補助金の見直し	補助金の見直し	補助金の見直し
事業費	予算（現額）		20,577,000	16,460,000	20,923,000	26,877,000	70,000,000	70,000,000
	決算額		0	0	0	0	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0	0
		一般財源	20,577,000	16,460,000	20,923,000	26,877,000	70,000,000	70,000,000
人件費	従事職員数（人）		1.49	1.49	1.54	1.56	1.56	1.56
	人件費相当試算 ※1		11,590,710	11,595,180	12,105,940	12,692,160	12,692,160	12,692,160
			0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）			32,167,710	28,055,180	33,028,940	39,569,160	82,692,160	82,692,160

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
	活動指標１	当初歳入歳出予算額	目標値	百万円							■
□			実績値		45,952.49	51,610.85	53,905.70	51,672.05	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		当初予算は、その時の社会経済情勢等に適切に対応する必要があり予め目標値を設定せず							
		当初歳入歳出予算額									
	成果指標１	実質赤字比率	目標値	%	11.25	11.25	11.25	11.25	11.25	11.25	□
□			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		目標値には早期健全化基準のうち一番低い数値を表示し、この数字未満とする							
			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
□			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
□			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
□			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
□			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 令和３年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、市税に極めて厳しい状況が予想される中、総合計画の着実な推進のために必要な事業を編成するとともに、基金状況、市債残高の状況を含め、総体として財政計画の規模に沿った持続可能な予算を編成することができた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 成果指標は財政健全化法に基づく「実質赤字比率」を設定した。本指標は市の標準的な一般財源の規模を表す「標準財政規模」に対する一般会計等の実質赤字額の割合である。赤字は生じておらず、良好な水準を維持している。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	財政課　財政係長　堀口浩正

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	概算要求基準に基づき、臨時的経費も含めた予算全体に対して、行政評価結果を踏まえた予算要求を実施する。また、予算関係調書の一元化により、「変動事業調書」を廃止し、まちづくりアンケート結果や総合計画の指標管理に重点を置く制度へと編成作業を変更する。
達成状況 及び その効果	概算要求基準により、臨時的経費も含め、行政評価結果を踏まえた概算要求を実施した。また、総合計画推進ヒアリングにおいて、施策の方向性、事務事業の評価結果及び次年度の取組を確認し、指示事項により本要求に向けて事業の方向性を示した。併せて評価結果等を踏まえ、各部の本要求上限額を設定し、優先順位に応じた本要求を実施するとともに、「変動事業調書」を廃止する等、予算編成事務の改善を図った。一連の見直しの結果、秋以降の編成作業の平準化に繋がり、効率的・効果的な予算編成を実施できた。

事務事業評価表

6．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	予算編成・統制事務	担当課	財政課	担当係	財政係	管理番号	2714

□ ① 現状のまま継続
■ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
■ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

持続可能な財政運営と計画と予算の連動強化を図るため、行政評価に基づく成果を重視した資源配分とする予算編成サイクルへ改善したところである。また、財務会計システムについては、複式簿記や複数年度の予算管理に対応した機能を有するものへ更新したところである。

持続可能な財政運営と市民満足度の高い施策の実現をより推進するため、新システムの機能を活用し、計画と予算の連動を一層高め、効果的な資源配分の向上に繋げていく必要がある。

評価者	財政課長　村尾厚彦

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

7．改善改革プランと今後の課題

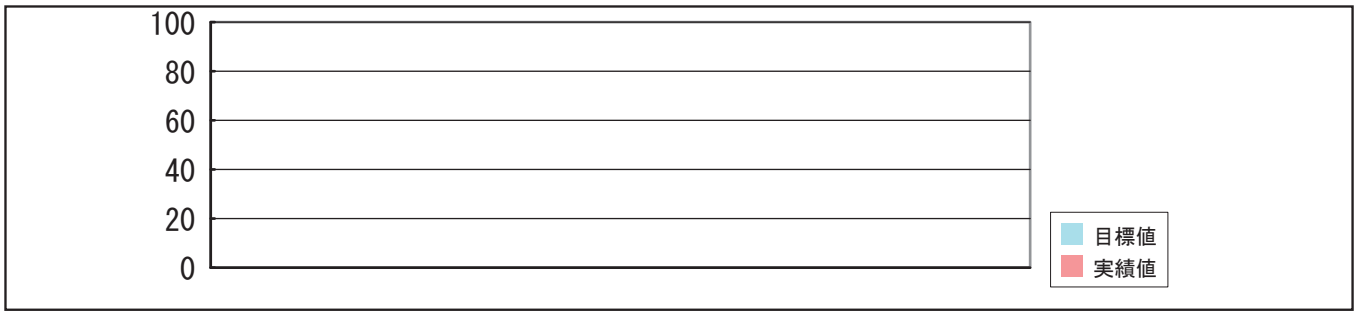
改善・改革案	「財政管理事務」と同様

8．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

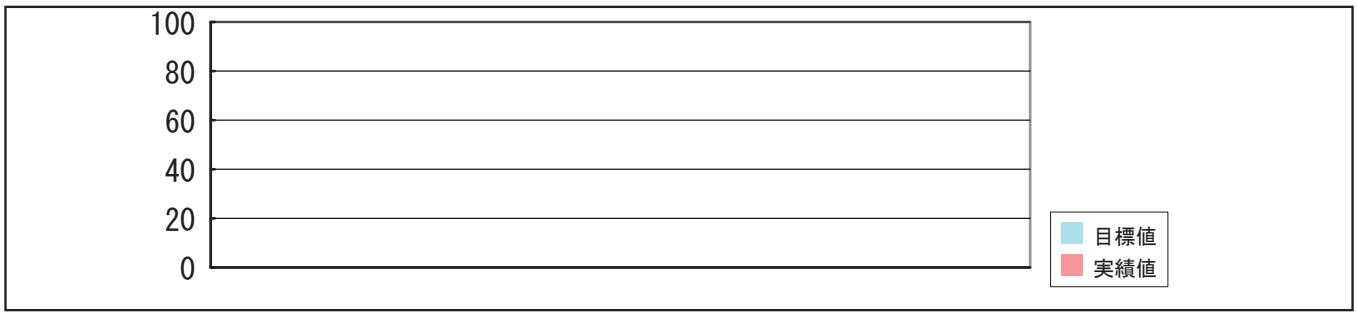
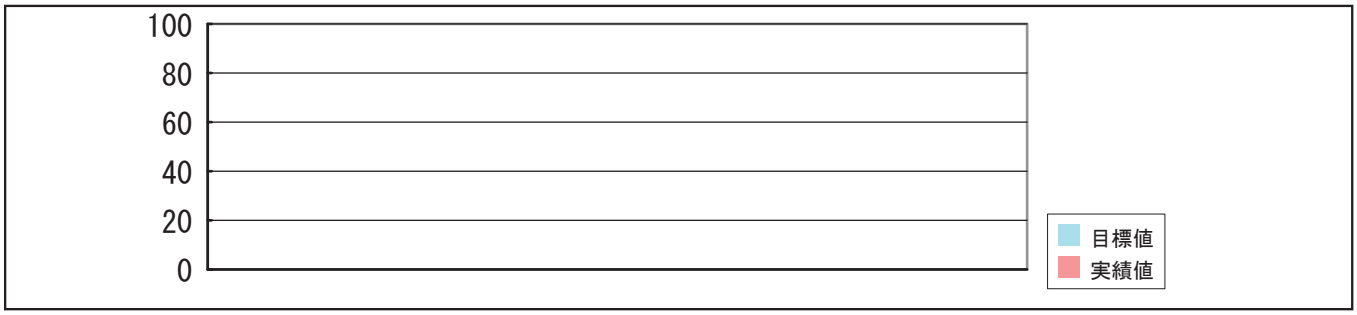
今後の課題	「財政管理事務」と同様

9．評価指標グラフ

区分		指標名	



区分		指標名	



区分		指標名